

演「月光ソナタ」では、全曲にわたる統一素材の存在やsfの意味合い、陰影を生むための和声技法について解明。「子どもの情景」では、全曲に仕掛けられた「隠しテーマ」の技法や、気づかずに弾かれることの多い、「トロイメライ」の作曲上のトリックと演奏解釈のあり方、ドイツ語タイトルの本当の意味などについても解説した。

尼子直子先生 (KOBEBOピュラーズ シオン代表)がテレビ出演



会員の尼子直子先生
(KOBEBOピュラーズ代表)

シオン代表が7月20日(日)14時放送の関西テレビ系列の「おじよママ」に出演。全くピアノを弾いたことのない30代の男性が尼子先生との1週間のレッスンの後、ピアノの弾き語りするという一週間の奮闘ぶりを描く。

バルセロナ国際フォーラム マスタークラス講師として 庄司美知子先生と 菅野潤先生が参加

2008年7月16日〜25日スペインバルセロナで開催されるバルセロナ国際フォーラムのマスタークラスにて、会員の庄司美知子先生(仙台Micheleシオン代表と



菅野潤先生が講師として参加。バルセロナ国際フォーラムでは、各国の先生方の個人レッスンを毎年様々なテーマでの講座が開

かれ、講師によるコンサートや受講生の終了コンサートなども開催された。

アレクサンダー恵子先生が、 山田真琳さんを カナダバンクーバーの演奏会に 出演者として招待



2008年6月24日、27日にカナダバンクーバーで開かれた演奏会に、カナダ在住の会員アレクサンダー恵子先生が山田真琳さん(07福田靖子賞優秀賞第2席)を招待した。これはアレクサンダー恵子先生が、日本の優秀な若いピアニストに海外での演奏機会を提供し、また彼らを海外に紹介したいという思いから実現したものだ。昨年は、酒井有彩さんが招待されている。

北から 南から

「our music」272号より、皆さんから届いたお声を紹介します。今後の誌面の参考にさせていただきたいと思います。(ピティナ編集部)

■巻頭随筆

「楽譜に書かれている音符は全て作曲家自身の血の雫のようなものだ」というメッセージのように「より良いタイムへのトレーニングではなく本質的なものを」とあることに共感しました。私もいつもそう考えてやってきました、これからもそうありたいと思っています。(香川県・武田宏子先生)

■特集1：耳を育てる

・音楽を聴く、演奏する上で一番大事な事柄を納得かつ勉強させていただきました。生徒さんにコピーをしてさし上げた程度です。(大阪府・中山紀子先生)

■特集2：本番で力を出す方法

・人前で演奏するための心得はとて参考になりました。又、他の方法などもお聞きしたいです。(大阪府・中山紀子先生)

■取り上げてほしいテーマ

・高橋多佳子先生のアドバイスは子どもだけでなく発表会を控えた大人の生徒さんの間でも好評でした。(静岡県・渡邊真里子先生)

・音楽(ピアノ)教育、教室の運営方法は勉強になります。音大時代の授業でもやってほしいテーマですね。(東京都・吉岡朋子先生)